

資料 4

# 女性委員の登用率が10%未満の附属機関一覧

令和6年5月1日現在

所管部	担当課	名 称	委員数	女性数	女性比率
危機管理室	①危機管理室	高槻市防災会議	40	2	5.0%
	②危機管理室	高槻市国民保護協議会	33	1	3.0%
総合戦略部	③みらい創生室	高槻市みらい創生審議会	5	0	0.0%
総務部	④人事企画室	高槻市非常勤職員公務災害補償等認定委員会	5	0	0.0%
	⑤収納課	高槻市債権管理審議会	3	0	0.0%
街にぎわい部	⑥文化財課	高槻市芥川城跡保存活用検討委員会	3	0	0.0%

※いずれも公募制はなし。

## 【担当課意見等】

①	これまでの経過から、各機関・団体において、長の立場にある方の推薦を受けることが多いことに加え、近隣市町とのバランスにより、各市町とも同一人物が委員に就任しているケースが多い中でも、各関係機関に対し、女性委員の推薦に協力いただけるよう働きかけを行いながら、女性委員比率の改善に努めている。
②	これまでの経過から、各機関・団体において、長の立場にある方の推薦を受けることが多いことに加え、近隣市町とのバランスにより、各市町とも同一人物が委員に就任しているケースが多い中でも、各関係機関に対し、女性委員の推薦に協力いただけるよう働きかけを行いながら、女性委員比率の改善に努めている。
③	委員の委嘱に当たり、女性委員の登用拡大に努める。
④	非常勤職員公務災害補償等認定委員会については、委員の委嘱手続きは本市で行っておりますが、実際の委員の選任は大阪府市長会が行っています。そのため、女性委員登用について、機会をとらえて市長会に働きかけを行ってきているところですが、市独自の計画策定は困難なものです。
⑤	改選に際しては、債権管理に関する学識経験のある者のうち、女性人材の把握に努め、対象者を幅広く検討する。
⑥	高槻市芥川城跡保存活用検討委員会は、芥川城跡の保存と活用のために、城郭史・文献史・考古学や史跡の保存活用計画等関連分野の専門家・研究者から委員を選任している。 現状においてこれらの研究分野における女性の専門家・研究者の数が非常に少数にとどまっており、その中から条件に合う人材を選任・登用するのは困難な状況であるが、探すように努めている。